

題 材 名	布を用いた物の製作～エコバック製作～																				
内容・項目	C－（３）（ 関連D－（２））																				
指導時間	8 時間																				
題材のねらい （題材の特徴）	現在、私たちの生活において、自分で物を作るという場面や経験は少なくなっ てきているといえる。縫製の基礎的・基本的な知識や技術を習得し、布を用いた 物を手作りする楽しさや完成の喜びを味わい、生活での実践に結びつけたい。 そして、内容・項目D－（２）とも関連づけ、製作したエコバックを使い環境 に配慮した消費生活の実践にもつなげていきたい。																				
学習の流れ （展開の工夫）	<table><tr><th>時 間</th><th>指導項目</th><th>主な指導内容</th></tr><tr><td>1 時間</td><td>・ 布地の裁断</td><td>・ 1枚の布からエコバックの持ち手・本体に裁断を する。実物を提示し、完成型をイメージさせる。 【学ぶエネルギー】 ・ はさみを安全に使用できるように指導する。</td></tr><tr><td>1 時間</td><td>・ 布地への不織布 接着及び裁断</td><td>・ アイロンを用い、接着芯を布地に貼り付けて いく。その際、アイロンの安全な使用につい て学習する。 ・ 学習課題を確認し、見通しをもって作業に取り組 めるようにする。【意思決定能力】</td></tr><tr><td>2 時間</td><td>・ ミシン縫い （直線・曲線） ・ 持ち手を縫う</td><td>・ 段階標本を掲示し、まち針を打つ順番（両端→中 心）を正確に行えるようにする。【かかわり】 ・ ミシンを使い、必要な用具を準備してから作業 に取り組むようにする。ミシンの取り扱いに十 分注意するように伝える。また、片付けの手順 を身につけさせる。 ・ 布地と接着芯をよりしっかり接着するため、直 線・曲線縫いの練習をバックの表に行う。 ・ ヒントコーナーを設けて、ボビンの作り方・上糸、 下糸のかけ方のVTRをいつでも確認できるよ うにする。【かかわり】 ・ バックの持ち手をつくる時には、布端を中 に折り込み、両端に端ミシンをかける。</td></tr><tr><td>3 時間</td><td>・ 本体縫い （袋縫い・まちつ くり・持ち手・ 袋口）</td><td>・ 本体の両端を袋縫いにする。袋縫いにするこ とで、布端の始末ができ布に強度をもたせる ことを知る。生地を中表に返す際、布の角を 丁寧に返すよう指示する。 ・ 布地の表印と裏印を正確に合わせるように伝 え、丁寧に作業に取り組めるようにする。 ・ 机間指導を行い、まち作りを上手にできない 生徒には、段階標本を提示し、個別に援助し ていく。</td></tr><tr><td>1 時間</td><td>・ アイロン仕上げ ・ 反省</td><td>・ 製作を振り返り、よくできた点や反省点をワーク シートに記入することで、計画的な作業を意識さ せる。【かかわり】</td></tr></table>			時 間	指導項目	主な指導内容	1 時間	・ 布地の裁断	・ 1枚の布からエコバックの持ち手・本体に裁断を する。実物を提示し、完成型をイメージさせる。 【学ぶエネルギー】 ・ はさみを安全に使用できるように指導する。	1 時間	・ 布地への不織布 接着及び裁断	・ アイロンを用い、接着芯を布地に貼り付けて いく。その際、アイロンの安全な使用につい て学習する。 ・ 学習課題を確認し、見通しをもって作業に取り組 めるようにする。【意思決定能力】	2 時間	・ ミシン縫い （直線・曲線） ・ 持ち手を縫う	・ 段階標本を掲示し、まち針を打つ順番（両端→中 心）を正確に行えるようにする。【かかわり】 ・ ミシンを使い、必要な用具を準備してから作業 に取り組むようにする。ミシンの取り扱いに十 分注意するように伝える。また、片付けの手順 を身につけさせる。 ・ 布地と接着芯をよりしっかり接着するため、直 線・曲線縫いの練習をバックの表に行う。 ・ ヒントコーナーを設けて、ボビンの作り方・上糸、 下糸のかけ方のVTRをいつでも確認できるよ うにする。【かかわり】 ・ バックの持ち手をつくる時には、布端を中 に折り込み、両端に端ミシンをかける。	3 時間	・ 本体縫い （袋縫い・まちつ くり・持ち手・ 袋口）	・ 本体の両端を袋縫いにする。袋縫いにするこ とで、布端の始末ができ布に強度をもたせる ことを知る。生地を中表に返す際、布の角を 丁寧に返すよう指示する。 ・ 布地の表印と裏印を正確に合わせるように伝 え、丁寧に作業に取り組めるようにする。 ・ 机間指導を行い、まち作りを上手にできない 生徒には、段階標本を提示し、個別に援助し ていく。	1 時間	・ アイロン仕上げ ・ 反省	・ 製作を振り返り、よくできた点や反省点をワーク シートに記入することで、計画的な作業を意識さ せる。【かかわり】
時 間	指導項目	主な指導内容																			
1 時間	・ 布地の裁断	・ 1枚の布からエコバックの持ち手・本体に裁断を する。実物を提示し、完成型をイメージさせる。 【学ぶエネルギー】 ・ はさみを安全に使用できるように指導する。																			
1 時間	・ 布地への不織布 接着及び裁断	・ アイロンを用い、接着芯を布地に貼り付けて いく。その際、アイロンの安全な使用につい て学習する。 ・ 学習課題を確認し、見通しをもって作業に取り組 めるようにする。【意思決定能力】																			
2 時間	・ ミシン縫い （直線・曲線） ・ 持ち手を縫う	・ 段階標本を掲示し、まち針を打つ順番（両端→中 心）を正確に行えるようにする。【かかわり】 ・ ミシンを使い、必要な用具を準備してから作業 に取り組むようにする。ミシンの取り扱いに十 分注意するように伝える。また、片付けの手順 を身につけさせる。 ・ 布地と接着芯をよりしっかり接着するため、直 線・曲線縫いの練習をバックの表に行う。 ・ ヒントコーナーを設けて、ボビンの作り方・上糸、 下糸のかけ方のVTRをいつでも確認できるよ うにする。【かかわり】 ・ バックの持ち手をつくる時には、布端を中 に折り込み、両端に端ミシンをかける。																			
3 時間	・ 本体縫い （袋縫い・まちつ くり・持ち手・ 袋口）	・ 本体の両端を袋縫いにする。袋縫いにするこ とで、布端の始末ができ布に強度をもたせる ことを知る。生地を中表に返す際、布の角を 丁寧に返すよう指示する。 ・ 布地の表印と裏印を正確に合わせるように伝 え、丁寧に作業に取り組めるようにする。 ・ 机間指導を行い、まち作りを上手にできない 生徒には、段階標本を提示し、個別に援助し ていく。																			
1 時間	・ アイロン仕上げ ・ 反省	・ 製作を振り返り、よくできた点や反省点をワーク シートに記入することで、計画的な作業を意識さ せる。【かかわり】																			

題材の紹介
と作品例

1時間の流れを、授業のはじめに提示する。見通しがもてる。

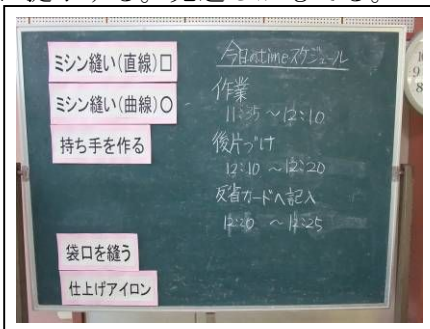


図1 1時間の授業の流れ

ボビンのかけ方、上糸・下糸のかけ方をVTRで確認できる。



図2 ヒントコーナー①②

袋縫いの手順・まち作りの手順を掲示する。(図3段階標本)
①～④は、作業の手順とリンクしており、言葉と実物の両方で確認することが出来るようにしてある。段階標本を活用することで、「どうしたらよいですか。」「次、何すればよいですか。」という声が減り、作業に集中して取り組むことが出来るようになった。また、完成作品も掲示しておく。完成予想図が見えることで、完成に近づいてくる喜びを感じることができる。

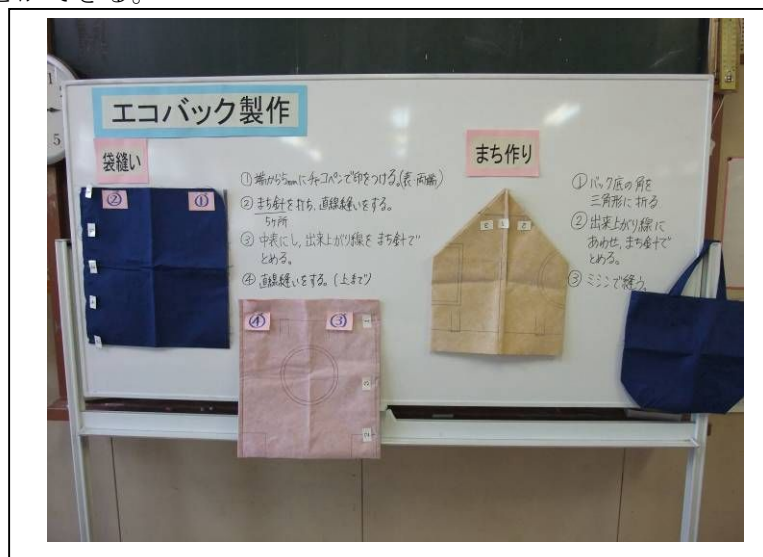


図3 段階標本



図4 まち針のうつ順

まち針のうつ手順を師範した後、
掲示しておくことで常に意識して
作業に取り組むことが出来る。

準備・材料等

山崎教育システム株式会社 使い方色いろバッグ 1, 155円

〔本題材を考案するに当たって参考にしたもの〕

- ・新編 新しい技術・家庭 家庭分野 東京書籍 平成19年発行
- ・中学校学習指導要領解説 技術・家庭編 文部科学省 平成20年9月
- ・家庭科実習ビデオシリーズ⑨ 衣服実習 基礎の基礎 ミシン縫い編 教育図書株式会社

